

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.50 交通バリアフリー特定事業			担当課	道路交通課			予算費目名	款	項	目	
								8	2	2		
事業概要 及び目的	バリアフリー整備方針に沿って、歩道の拡幅、歩道の改良、視覚障害者誘導用ブロックなどを整備し、歩行者の安全かつ円滑な通行を確保する。			成果 指標	成果指標	特定事業経路数		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
					計画値	12 経路		予算額 (単位: 円)	190,590,750	59,000,000	10,500,000	4,000,000
								決算額 (単位: 円)	189,346,750	45,109,050	7,770,000	
								従事職員数	2	2	2	
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 社会福祉環境整備基準に適合した生活環境整備、駅前広場等の環境整備により、高齢者や障害者をはじめ、すべての市民にやさしいまちづくりが推進される。	従事延べ日数	130	120	135	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし			
	節	3	快適な生活環境の創造		民間活力の導入	相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等						
	項	1	都市基盤の整備・充実			形態は? :						
号	1	道路網整備の推進										

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 21 日記入					平成 22 年 5 月 25 日記入					平成 23 年 4 月 18 日記入						
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)							
実施計画上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由		
完了した事項	<ul style="list-style-type: none"> 市道 00-109 号線踏切改良 JR 津田沼駅北口ペDESTリアンデッキ改良 			特定事業経路については、H22 年度までに実施する計画としている。	<ul style="list-style-type: none"> JR 津田沼駅南口ペDESTリアンデッキ改良 歩道改良工事 			特定経路の中には、商店街など既存店舗のある歩道の勾配改善が困難な箇所が存在。また、案内板の設置等については施工時期を調整する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 歩道改良工事 視覚障害者誘導用ブロック設置工事 			安全で通行しやすい歩道を整備することは、恒久的課題であり、地域からの要望や現地調査を踏まえた計画的な改修が必要となる。				
継続している 事項	<ul style="list-style-type: none"> 歩道改良工事 視覚障害者誘導用ブロック設置工事 				<ul style="list-style-type: none"> 歩道改良工事 視覚障害者ブロック設置工事 				<ul style="list-style-type: none"> 歩道改良工事 							
未着手事項					<ul style="list-style-type: none"> 案内看板の設置 歩道の勾配改善 				<ul style="list-style-type: none"> 案内看板の設置 歩道の勾配改善 							
改善案	成果指標 実績値 2 経路 達成率 17 %				交通バリアフリー特定事業に限定することなく、歩行空間改善に向け継続的に取り組む。				成果指標 実績値 4 経路 達成率 33 %				交通バリアフリー特定事業に限定することなく、歩行空間改善に向け継続的に取り組む。			

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成 21 年 7 月 22 日協議実施					平成 22 年 5 月 26 日協議実施					平成 23 年 4 月 18 日協議実施				
今後の方向性	成果の方向性	拡充			○					○					○				
		現状維持																	
		縮小																	
		休廃止																	
		休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性																	
		★上記を選択した根拠 歩行者の多い駅周辺の歩道改良、ペDESTリアンデッキの改良については、現状の予算を確保しつつ、費用対効果が高くなるよう努める。																	
方向性を実現するため実施すること (改革案)	計画のうち、優先度を判断すべき事業については実施年度を検討する。				計画経路と実施経路を検証し、実施に向けた課題を整理する。				計画地以外においても継続的に整備、改修を実施する。										
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。計画期間 (H22) 終了後は、公共施設周辺も対象に計画を更新予定。				□実施 □一部実施 ■検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。特定事業計画の最終年度となる平成 22 年度に完了が見込めない経路については、実施手法、実施時期の再検討を要する。				□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。整備終了に至っていない箇所、また新たに整備の必要が認められる箇所については、次年度以降についても計画的に整備を検討する。										